



第91号

〒441-3421 愛知県田原市田原町汐見5 田原文化会館内
 TEL.<0531>22-2622 FAX.<0531>22-2625
 Email: info@tahara-tia.jp

英語で遊ぼう

第2回 Happy Day Camp

— 2016年10月2日(日) サンテパルクたはら —



みんなで一緒に「はいポーズ」

今年の参加者は女子ばかり32名。ALT3名、豊橋技術科学大学の留学生6名と一緒に、アメリカのゲームとアメリカンバーベキューのランチを楽しみました。広いサンテドームの中を走り回ったり、ブルーシートに車座になってカードゲームをするなど楽しく過ごしました。



ミイラになっちゃった



アメリカ版「うすのろのばか」

祝 トン ジャク ク 韓国ソウル特別市銅雀区姉妹都市提携10周年

今年は、田原市と銅雀区との姉妹都市提携10周年の年に当たります。当協会でも、2008年と2012年に市民海外派遣を実施し交流を図ってきました。特に2012年は音楽文化交流と称し、田原からは合唱と詩舞の披露を、銅雀区も韓国舞踊で訪問団を歓迎してくれました。10周年を機に、これからも更なる交流が続くよう銅雀区について、もう一度ご紹介します。

銅雀区は、1980年4月ソウル特別市17番目の区として誕生しました。人口は約41万人、面積は16.35km²で、ソウル市内を東西に流れる漢江の南、市の中心となるソウル駅・南大門から地下鉄で約30分の所に位置します。区内のほとんどを住宅用地が占めていることから、福祉サービスの充実や教育分野の向上に力を入れています。1985年田原日韓親善協会と韓日親善銅雀区協会が姉妹結縁を締結し、相互の訪問が開始されました。この訪問は、田原から銅雀区を訪問すれば翌年は田原が銅雀区を招待するというような方法で、今日までずっと続いています。2001年には田原市(当時は田原町)で、田原市・銅雀区・長野県宮田村の少年サッカーチームが交流試合を行いました。2004年市内5団体(田原日韓親善協会・田原市文化協会・田原市体育協会・たはら国際交流協会・田原市商工会)が連名で、銅雀区との友好都市提携を求める陳情書を田原市と田原市議会に提出。民間団体が市に働きかける形で友好都市提携が検討されることとなります。そして2006年姉妹都市として協定を締結するに至りました。(平成18年12月広報たはら交流通信からの抜粋による)

<日韓親善協会の交流>



ことなく相互の訪問を重ね、交流が続けられました。それはまるで親戚が行き来するようなお付き合いだったと思います。今年は、銅雀区側の案内で、冬季オリンピックの開催予定地、平昌^{ピョンチャン}近くの観光地を見学したり、松茸料理を楽しんだりしました。韓国と日本の間では、反日や嫌韓ムードが漂うことたびたびでしたが、両協会は、それを乗り越え、親交を深めてきました。人と人のつながりは、二国間の関係とは異なるものです。32年の時を経て、両協会の会員もずいぶん高齢化してきましたが、今後も、心の通い合うこの交流を大切にしたいと思います。

日韓親善協会は、今年10月10日～13日韓国を訪れました。ソウルに到着した10日は、北朝鮮の労働党創立記念日でミサイルの発射や核実験が行われるのではないかと少し緊張した雰囲気でした。北と南は休戦状態ですが、戦時やテロの用心のため、地下鉄構内の通路には、ロッカーのようなボックスが壁面いっぱいに並んでいて、中には防毒マスクが入っているそうです。また、高速道路もすぐに軍用滑走路に転用できるようになっているそうです。

韓日親善銅雀区協会と田原日韓親善協会は32年間途切れる



芋掘り体験会(収穫)

10月16日(日)に芋掘り体験会が行われました。参加者は37名におよび、出身国もベトナム・アメリカ・フィリピン・中国・タンザニア・マレーシアなどさまざまでした。

さつま芋は、6月12日に日本語教室のみんなで植えたものです。紫芋・紅はるか・安納芋など4種類のさつま芋が昨年以上にたくさん実りました。

参加者は慣れないくわを手にして土を掘り起こしたり、手で土を掘ったりしました。さつま芋を傷つけずに掘ることは、かなり難しいことだったようで、「破れた!」や「壊れた!」などの声があちこちから上がっていました。しかし、しばらくすると掘ることに慣れ、傷をつけずに芋を掘ることができるようになりました。つるについたままのたくさんのさつま芋を手にとり大喜びする姿も見られました。

さつま芋の重さ当てクイズも行われ、日本語教室の生徒の一人が景品のさつま芋を手に入れました。参加者はみんなさつま芋がたくさん入った袋を両手に持ち、満面の笑顔でした。

芋掘りの後は、赤羽根ロングビーチまで足をのばして、ゆったりと海を見ながら時間を過ごすなど、充実した午後のひとときを過ごしました。



英語DEハロウィン

10月30日(日)セントファール2階のミーティングルームにおいて2才から大人まで40名が参加してみんなでハロウィンを楽しもうという「英語DEハロウィン」が開催されました。

参加者は「アナと雪の女王」のエルサや「ズートピア」のうさぎの



警官ジュディ・ホプスなど思い思いの仮装をしていました。絵本の読み聞かせや目玉のスプーン運び等のゲームを行った後、セントファール内のお店を回り、「トリック・オア・トリート」と言ってお菓子をもらい、秋の一日を満喫しました。ご協力いただいた、ブルーベルカフェ・マサキクリーニング・美容室Dio・子供服のラグラットの店舗の皆さんありがとうございました。



..... INFORMATION ~おしらせ~

第9回多文化研修会 「京都 ～金閣寺と清水寺～」

- ◆開催日 平成29年2月19日(日)
- ◆会費 大人 6,000円～8,000円 子供(小学生以下) 3,000円～5,000円
※昼食、拝観料、保険料が含まれています
- ◆定員 160名(先着順)

書損じハガキを集めています。ご協力をお願いします。

ポスト設置場所：ショッピングパオ北側入口・田原市役所南庁舎玄関・たはら国際交流協会事務局

※イベントの申し込み、お問い合わせは事務局までお気軽にどうぞ



たはらの YOU

祖国を離れ日本にやって来た田原市に住む「YOU(外国人)」を紹介するコーナーです。

(文章はインタビューにより作成したものです。)



日比 明日香 さん

出身国 中国
来日年 2008年8月
家族 夫、長女、長男

私は2005年中国シンセンに仕事で来ていた夫と知り合い、2007年に結婚しました。日本に来たのは2008年です。シンセンは人口56万人くらいの都会なので田原に初めて来た時は店が閉まるのが早く、夜自宅の周りが暗くてびっくりしました。最初は車の運転ができなかったのでタクシーを使ったり、ご近所の方が病院などに連れて行ってくれたりしました。地域の方がとても優しく親切なので嬉しいです。

現在、小学校3年生の娘と3才の息子がいます。地域の婦人会や子どもの活動に参加することもあり、いろんな体験が親子でできるのでとても良いと思っています。休みの日は家族で、サンテパルクたはらや白谷海浜公園に行くこともあります。

介護ヘルパー2級の資格を日本語で取るために、一生懸命勉強しました。お陰で無事に合格しました。今は飲食店で働いていますが、資格を生かした仕事もしてみたいという希望もあります。



チャン クォック トウアン さん

出身国 ベトナム
来日年月日 2013年5月15日
自国での家族 父、母、姉二人

田原に来て、驚いたことは風がとても強いことです。今ではもう慣れましたが、台風のように強い風が吹くのにはびっくりしました。また、食べ物では、卵を生で食べるのにも驚きました。刺身などの生魚は食べられますが、生卵と納豆は今も苦手な日本食です。

日本語については、ベトナムの言葉には“つ”の発音がないので、“つ”のある言葉をうまく発音することができません。

仕事は、養豚の仕事をしています。豚の世話は臭い仕事もありますが、いろいろな事を教えてもらえるので毎日楽しく働いています。スポーツが好きなので仕事が終わった後、時々ジョギングをしたりします。高松町に住んでいるので、夜暗くなっても、菊の温室の周りは明るいので夜道を走ることもあります。休みの日は自転車で田原の町のいろいろな所へ出掛けます。一日中、家の中にいることはあまり好きではありません。でも、夜はテレビを見て過ごすこともあります。歌番組やスポーツの番組は、日本語の放送でも楽しむことができます。特に、バレーボールの試合中継は大好きで、日本のバレーボールチームを応援して楽しく見えています。

編集後記

今年も早いもので、クリスマスの時期になりました。町はイルミネーションに彩られ、花屋さんにはポインセチアが並んでいます。

私事ではありますが、去年買ったお気に入りの赤とクリーム色のポインセチアが冬を越し、二回りほど大きくなりました。今年も色づくのを今か今かと待っていたらいつまで待っても緑のまま、おかしいと思いネットで調べたら、9月頃から、日の当たる時間を短くしないといけなかったみたいです。結局、今年も新しいポインセチアを買いました・・・。(S.K)

「相続税の申告・相談・対策」
ご家族の財産を守ります

税理士法人松井会計事務所

田原市田原町南晩田21-3

TEL 22-5351

FAX 23-1622

Email m-kk@matsuikaikei.com

どんぶり街道 あなご天井の店

グリル

華

田原市田原町倉田5の11 TEL.0531-22-3531